

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		地方公営企業の経営の健全化				
実施計画項目		下水道事業の健全経営の推進				
担当課		下水道課		関係課		
No.Ⅲ-3-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	ストックマネジメント計画の履行 徴収率:97.4%	ストックマネジメント計画の履行 徴収率:97.5%	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 委託事務を整理し費用と効果を検討	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 委託業者の選定	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 民間事業者への委託開始
進捗状況	実績	A	A	A		
	効果又は 数値実績	徴収率:97.3%	徴収率:97.2%	概ね計画どおりに順調に進行している。		
現状と課題						
早期の汚水処理計画区域の整備完了を目指し、未整備区域の解消を推進している一方で、施設の老朽化による改修、維持補修費の増大が見込まれている。 また、人口減少等による使用料収入の拡大は期待することができず、財源を確保しつつ効率・効果的な施設整備を行っていく必要がある。 令和2年3月31日現在の生活排水処理人口普及率は83.2%で、うち公共下水道・農業集落排水の普及率は69.2%となっている。						
課題解決に向けた方策						
下水道事業のサービスを持続的、安定的に市民に提供していくため、事業の健全経営に向けた取組が必要である。 「公共下水道事業経営戦略」及び「農業集落排水事業経営戦略」に基づき健全経営を推進していく。また、使用料の賦課徴収事務の一部を民間委託事業者へ委託して委託しているが、事務の効率化・コスト削減が可能な他事務についても整理し、民間事業者を活用することで効率的な運営に努め、窓口業務の改善等による市民サービス提供の向上を図る。						
具体的な取組内容						
【令和5年度】 令和7年度の業務委託契約の切り替えに併せ、費用対効果を考慮しながら業務内容の見直しを行い、市民サービス提供の向上と下水道事業会計の経営の効率化を見据えた業務委託を実施していく。 令和5年度は委託業務の見直し作業により、新規委託業務の抽出とその費用対効果の検討を実施した。また、追加する業務委託について決定した。						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
【令和5年度】 追加委託業務について、効率や利便性などから再度詳細について検討する。						
考察を踏まえての今後の取組方針						
【令和6年度以降】 令和6年度は業務内容の再検討を実施したのち、委託業者の選定を進めていく。 業務委託は3年間の複数年契約で切り替えとなるため、契約更新となる令和7年度を目途に作業を進め、委託済の業務と新規委託業務を一本化することにより、市民の更なる利便性向上と下水道事業会計の事務の効率化を進めていく。						